



JAL不当解雇撤回ニュース

No 079 号 2011.11.16
発行:JAL解雇撤回国民共闘事務局
連絡先:航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田5-11-4
フェニックスビル内
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819
<http://www.jalkaikekotekkai.com>

解雇の不当性が浮き彫りにした証人尋問 稻盛会長自身が「必要なかった」と認める

11.7 JAL闘争を支える会結成集会における山口泉弁護士の裁判報告

更生法下にあっても 解雇に関わる労働法の規制を受ける

本件は、会社更生手続き下の日本航空において、更生計画実行のためには人員削減が必要であるとして行なわれたものです。会社更生下での整理解雇ということで、非常に関心が寄せられていますが、会社更生とは、事業が不振になった企業に関して、債権者や株主等関係者の利害を調整して、当該企業を更生させていく手続です。会社更生手続中であるからと言って、労働法の規制がなくなり解雇が自由にできるとかと言うようなことは一切ありません。会社更生法の改正が行われた国会での政府答弁や判例で、会社更生手続下においても、解雇に関わる法規制、とりわけ本件との関係では整理解雇に関する規制が適用になることが明確に確認されているのです。したがって、整理解雇が不当か否かを判断する際には、解雇せざるを得ない経営上の重大な事情があったのか、解雇を避けることはできなかったのか、人選基準が合理的に選定されているのか、協議の経過やその他の手続きが公正を害することはないのか、これらの4要件を審査することになっています。裁判においては、この整理解雇の4要件に即して主張・立証をやり切り、そして判決日が見通せる段階へと進んできました。



ました。人員計画もグループで 32,600 人にするという目標を超過達成し、2011 年 3 月期時点で 31,300 人まで削減しました。会長は、業績が計画を上回ったこと、人員も計画を超えて削減ができたこと、いずれも認めました。そして稻盛会長は、計画を上回る人件費削減ができたのは「希望退職で計画よりもたくさん的人人がやめたからだと考えている」とも証言したのです。

彼らは、「銀行や迷惑をかけた」「債権者に約束した」と述べていますが、人員も、財務状態も、すべて更生計画を大幅に上回っており、再建の出口である 2012 年の目標値をも上回る実績を上げているのです。これらの事実を、稻盛氏も片山氏も、全て認めました。会長自身が「必要がなかった」と認めているのです。

また、「更生計画遂行のために、やむなく選定して解雇した」というわけですが、実際は経営上の人員の削減ではなくて、不合理な基準で、労組の活動を熱心にしていた特定の人たちを辞めさせようとした解雇であることも明らかになりました。

さらに、労働組合との協議・説明もきわめて不十分であることがあからさまになるなど、どのような面から見ても、整理解雇の要件を満たすものではないことが、明らかになったのです。

必ず勝利判決引き出す そして 全て争議を解決する運動につなげよう

証人尋問を終了し、12 月 19 日と 21 日にそれぞれ最終口頭弁論期日が指定されました。いわゆる結審を迎えます。提訴以来 1 年経ることもなく結審という早期審理は、原告団や労働組合、ご支援の皆さんとの団結の力によるものです。今、早期に勝利判決を勝ち取ることが重要な課題であります。裁判については我々の求めてきた条件をすべて満たし、内容的にも私たちが圧倒する進行となりました。

恐らく、年度内 2012 年 3 月頃までには、判決の言い渡しがなされるのではないかと思います。判決日が目前に見えてきた中で、勝利判決をより確実なものにするとともに、148 名の原告全員の原職復帰を勝ち取ることにとどまらず、日本航空の分裂労務政策の問題など、様々な争議や問題をすべて解決し、正常な労使関係を築きあげること、そして働く皆さんの権利を守るという成果に結びつけて行かねばなりません。全面勝利解決に向け私ども弁護団も一層の努力をしていきます。今後とも、みなさんのご支援・協力をよろしくお願ひ致します。

解雇は必要なかったと稻盛会長 整理解雇の 4 要件は全て満していない

1 月 19 日提訴以来、口頭弁論を重ね、9 月には乗員・客乗裁判とも 2 回の証人尋問が行われました。注目された稻盛会長らの証人尋問で、解雇の不当性がきわめて明瞭になりました。彼らは更生計画実行のために必要だったと主張して、解雇に踏み切りましたが、会社業績を見ても、また人員削減においても計画を上回っており、解雇の必要性は全く見いだせないと言うことがはつきりました。2011 年 3 月期決算では、1,884 億円の営業利益を上げる等、更生計画の目標を大幅に上回る業績を達成し